

(仮称)板橋区交通安全計画【素案】に対するパブリックコメントの実施結果

1 実施概要

募集期間	令和4年10月1日(土)～10月15日(土) (15日間)
周知方法	<ul style="list-style-type: none">・区ホームページへの掲載・区公式 Twitter での配信・広報いたばし(10月1日号)への掲載・各施設での閲覧 →土木計画・交通安全課、区政資料室、区立図書館(10館(東板橋図書館は改修中のため未実施))、地域センター(18か所)・「パブリックコメント等区民参加情報配信制度」登録者(233名)への情報配信・庁舎内の広告付電子掲示板での周知
募集対象	<ul style="list-style-type: none">・区内在住・在勤・在学の方・区内に事業所・事務所を有する個人・法人・各種団体・区内で活動する個人・法人・各種団体
提出方法	<ul style="list-style-type: none">・直接持参・郵送・ファクス・電子メール・区ホームページ(意見提出フォーム)
公表資料	(仮称)板橋区交通安全計画【素案】 本編及び概要版
意見数等	提出意見数 : 5件 提出人数 : 4名(すべて個人) 提出方法別人数 : 地域センター経由にて提出2名、電子メール1名、区ホームページ1名

2 提出された意見(パブリックコメント)と区の考え方

・No.	項目	意見の概要(要旨文)	区の考え方
1	ルール・マナー(自転車・四輪車)の啓発	<p>自転車通行に対して、左側通行を指導すべきである。住宅地の交差点でノンストップ通過が特に高校生以上の若者・子どもを乗せた女性に多くみられる。また、道いっぱいに横に広がり登下校する高校生もいる。歩行者信号について、川越街道等では良く守られているが、商店街の歩行者信号では守られていない。モーター付自転車のスピードアップにも注意が必要である。</p> <p>特に、朝夕方に住宅地の道(裏道)を50～60kmのスピードで通り抜ける車両がまだ多くみられる。繰り返しの指導や、安全運動が必要であると思う。</p>	<p>以下のソフト面の施策等を通して、高校生から、交通安全教育及び啓発を受ける機会が少ない成人に対して、働きかけを行います。</p> <p>施策の一例:「安全な自転車通学のための情報提供と意識啓発(p.44)」、「大人への自転車+安全利用啓発の推進(p.45)」、「動画配信での周知(p.50)」、「段階的・体系的な交通安全教育の推進(エ)高等学校(p.57)」、「運転者に対する交通安全教育(p.63)」、「地域社会における交通安全意識の高揚(イ)若年者層のための施策(p.64)、(ウ)成人のための施策(p.65)」等の施策。</p> <p>また、「自転車+活用推進に対する施策(ア)ハード対策」では自転車ネットワーク路線の整備について記載しており、路線に選定された箇所は、車道部へ走行位置と進行方向を表示します。これにより、自転車の通行位置と左側通行を視覚的に示すことにより、事故防止を図ります(p.38)。</p>
2	ルール・マナー(自転車)の啓発	<p>交通安全については、子どもや学生に対する活動よりも、成人に対する活動を重視する必要があると思う。実際に事故につながりうる車や自転車の運転者の大半が成人である。</p> <p>成人に対する活動のうち、啓発については交通安全計画に盛り込まれているが、いま必要なのは成人に対する教育である。自転車に乗っている成人のうち、自転車は原則車道を左側通行や、交差点では停止線や車両側の信号を守るなどの正しいルールを理解している割合はかなり低いと推測される。交通ルールを知らない成人に、いくら交通安全を啓発しても、残念ながら効果は低いと思う。まずはきちんとした交通ルールの</p>	同上

・No.	項目	意見の概要(要旨文)	区の考え方
		<p>教育があり、その後に啓発活動の順番かと思う。</p> <p>国でも大人の学び直しに力を入れ始めた。交通安全といった身近なことにも、学び直しが必要であると思う。</p>	
	啓発の方法	<p>幅広く、成人に交通ルールの教育を受けてもらう必要があるが、その実現方法に課題があるのかもしれない。</p> <p>例えば、板橋区のスマートフォンアプリでオンライン研修を開催してみたらどうか。また、受講並びに簡易テストに合格したら、アプリで証明書を発行し、区内のお店で割引を受けられるようにすれば、受講も促進されると思う。</p>	<p>貴重なご提案ありがとうございます。区でも、効果的に交通安全教育及び啓発を行う方法を検討しており、従来の周知方法に加え、令和3年より動画配信を用いた新たな交通安全教育及び啓発に取り組んでいるところです。</p> <p>今後も、引き続き効果的な周知方法を検討・実施していきます。</p>
3	計画全体	<p>大変すばらしい計画であると思う。板橋区、交通安全協会、町会交通部と共に「事故のない社会の実現」に向けて「交通事故ゼロ」をめざして頑張りたいと思う。</p>	<p>ご期待に沿えるよう、計画に位置づけた取組の着実な実行を推進していきます。</p> <p>また、本計画では交通事故を無くすことは「区民一人ひとりをはじめとした区内通行者全てが、一人ひとりの暮らしを守るために、自分事として取り組むべき課題」として位置づけており、皆様方の協力がもっとも重要な要素であると考えます。</p>
4	計画全体	<p>この計画には良い点が3つある。</p> <p>第一に「的確な社会課題の把握」ができる点。</p> <p>第二に、第一部の全区民に関わるパートでは、画期技術(情報技術など)の健全な活用を助ける社会工学的政策(区民の組織づくりやルール普及)が、第二部の事業者を含む行政機関に関わるパートでは、行政管理政策(行政機関の仕事の分担や連携)とインフラ政策(土木・機械・通信技術などの健全</p>	<p>ご期待に沿えるよう、計画に位置づけた取組の着実な実行を推進していきます。</p>

・No.	項目	意見の概要(要旨文)	区の考え方
		<p>な活用を助ける政策)について体系化されていること。</p> <p>第三に、第二部に研究・開発政策的な配慮(新たな技術の記載)がされていること。</p> <p>この3本柱のバランスが良く揃っている。</p> <p>区がこの計画により、交通安全政策においてもいたばしNo.1を実現できるよう期待する。</p>	